

上越市(高田地区・直江津地区)中心市街地活性化協議会

令和6年度第2回総会 議事要旨

- 1 日 時 令和6年9月17日(火) 午後1時30分～同2時30分
- 2 場 所 上越商工会議所 3階 大ホール
- 3 出席者 委員30人(委員総数53人)、オブザーバー2人、事務局3人
- 4 議 事 結果内容は下記のとおり

はじめに、事務局より総会開会を告げ、続いて、山田会長より開会の挨拶の後、事務局より資料1「交代構成員名簿」に沿って人事異動等による交代構成員5人を紹介。その後規約に基づき山田会長を議長とし議事に入った。

審議事項

第1号議案 規約の改正について

事務局より、資料2に基づき「上越市中心市街地活性化協議会規約」の改正(運営委員会の変更等)について説明がなされ、議長が出席委員に諮ったところ、異議なく原案のとおり承認され議決された。

協議事項

第4期(令和7年度～9年度)中心市街地活性化プログラムの案について

上越市商業・中心市街地活性化推進室より、資料3に基づき「第4期中心市街地活性化プログラム(素案)」について説明がなされ、議長が出席委員に意見を伺ったところ、下記のとおり質疑応答があった。

(1) 第4期プログラムに関すること

(意見)

- ・南本町三丁目や本町一、二丁目、東本町でも商店が減り、買い物が不便だという声がある。中心市街地の区域設定を見直してはどうか。

(回答)

- ・中心市街地の区域は、人口集中地区など、一定の考え方のもとに上越市中心市街地活性化基本計画の策定時に設定したものであり、現状では変更する考えはない。各地域の課題については個別に対処すべきものと考えており、例えば、南本町三丁目などは、まちなか居住推進地区の認定を受け、各種支援制度を活用できるようになっている。

(2) その他（補助事業等への要望）

(要望)

- ・直江津地区の商店街から外れた地区も、空き店舗対策補助金の範囲にしてほしい。

(回答)

- ・空き店舗等利用促進補助金は、商業機能の集積を目的としていることから対象区域を限定しているが、近隣地区については、支援の在り方を検討する。

(要望)

- ・年々物価が上昇しており、空き店舗対策の補助上限額(100万円)を増額してほしい。
- ・直江津には1階が空き店舗、2階が住居という建物があるが、ガスや水道の切り分けができないと店舗部分の貸出しができない。所有者向けの補助を検討してほしい。

(回答)

- ・空き店舗問題への課題認識は持っている。ニーズや所有者の意向、他市の事例などを踏まえ、研究していく。

(要望)

- ・創業予定者に、補助制度や空き店舗の紹介をしてほしい。

(回答)

- ・関係機関と連携し、引き続き市の各種支援制度を紹介していく。

(要望)

- ・直江津地区では、うみがたり周年祭、鉄道まつり、プレミアム付商品券発行事業を実施している。うみがたり周年祭には市から補助金が出ていない。イベントに対する支援をお願いしたい。

(回答)

- ・担い手の確保も含めて、持続可能な体制にしていくことが重要である。イベントの開催資金を確保することについてなど、様々な手段を検討していく必要がある。

議長は、以上をもって本日の議案審議を終了した旨を述べ、午後2時30分閉会した。

以 上